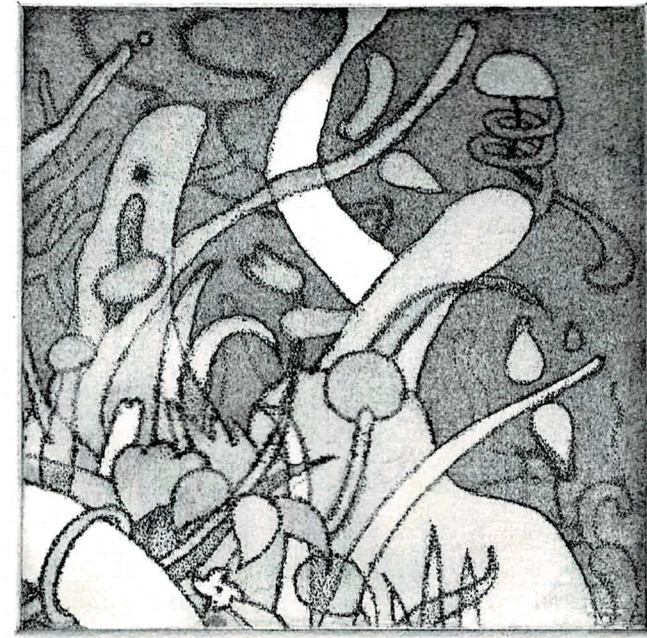
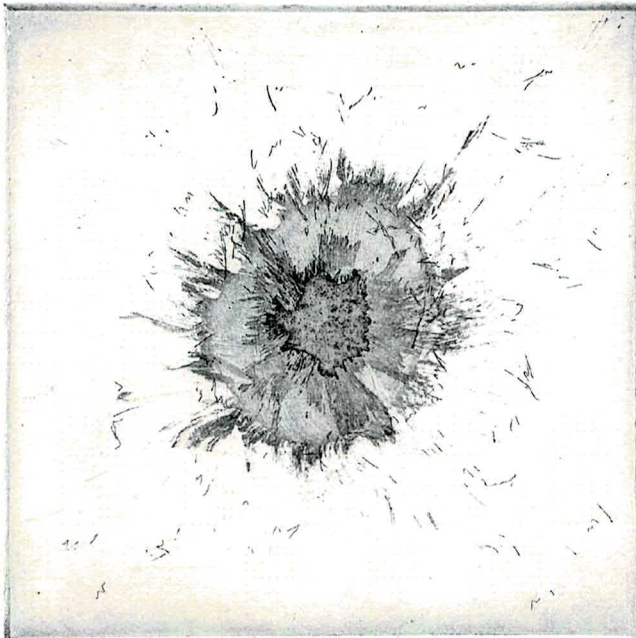
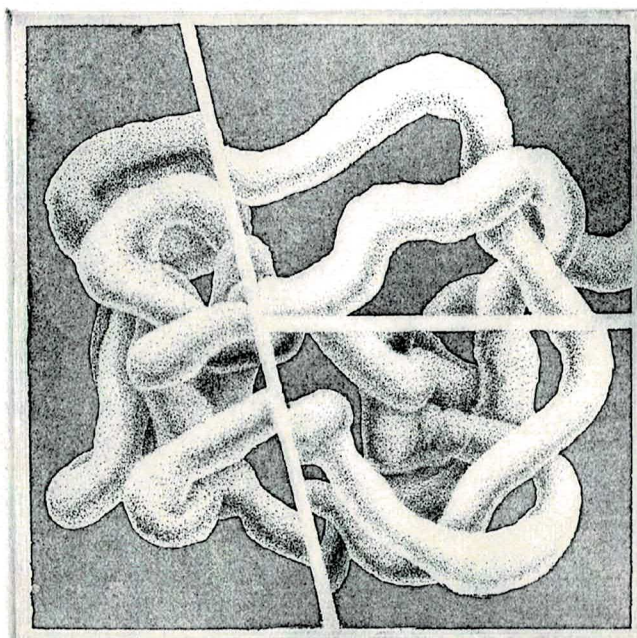
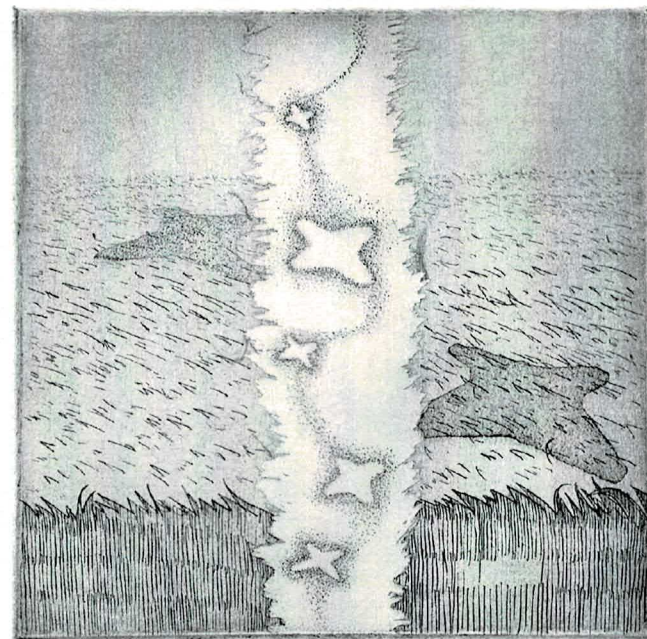
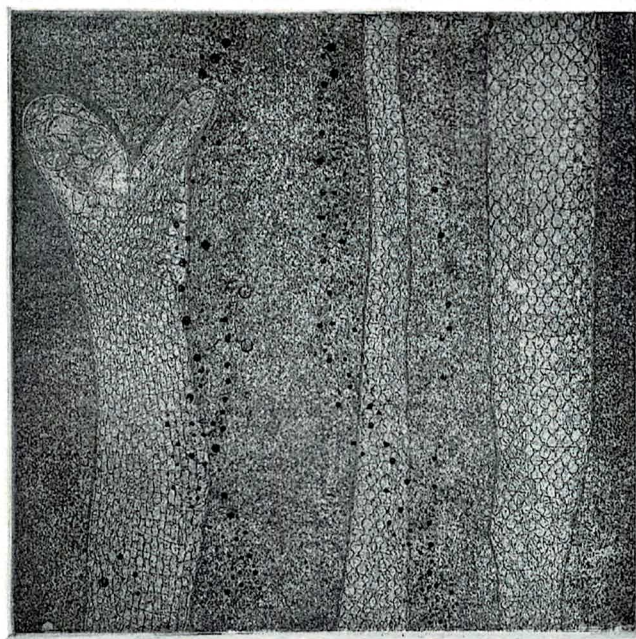
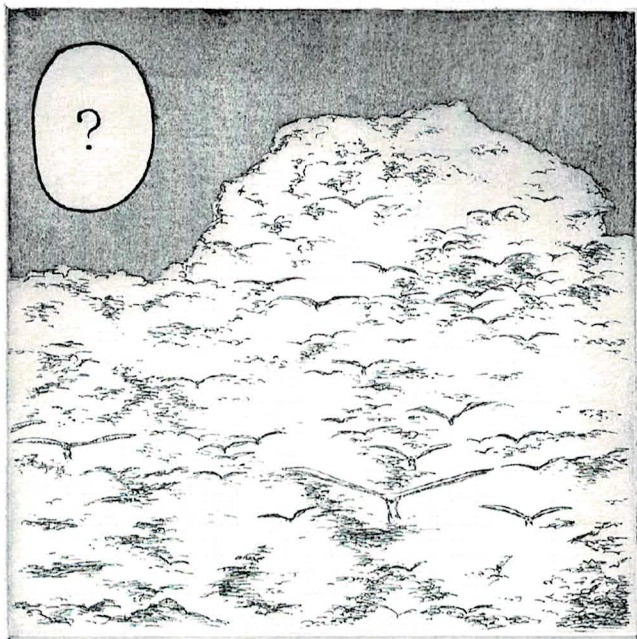


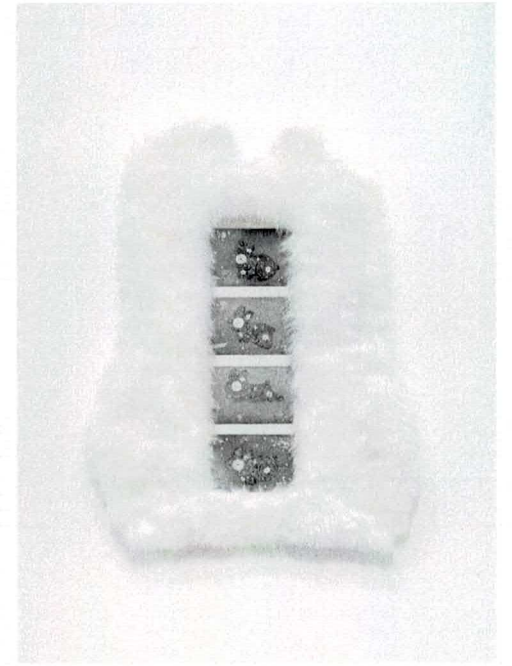
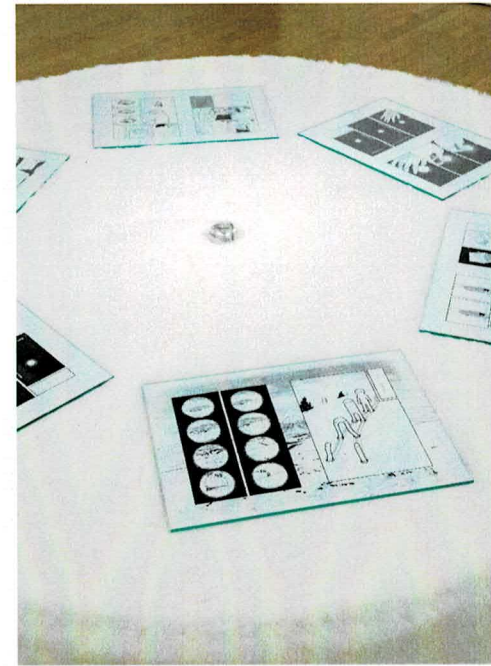
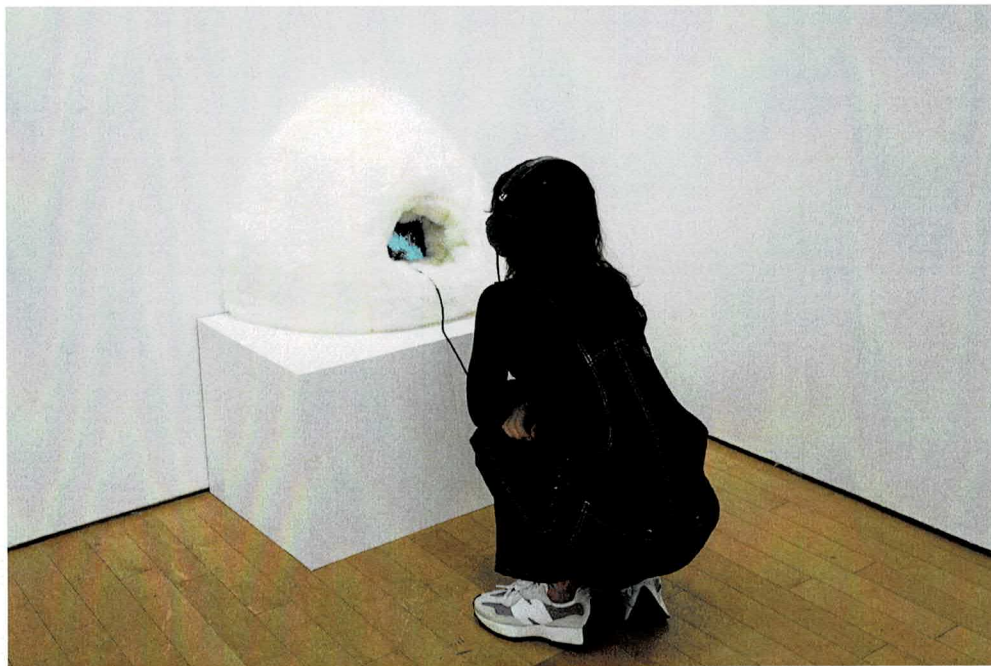
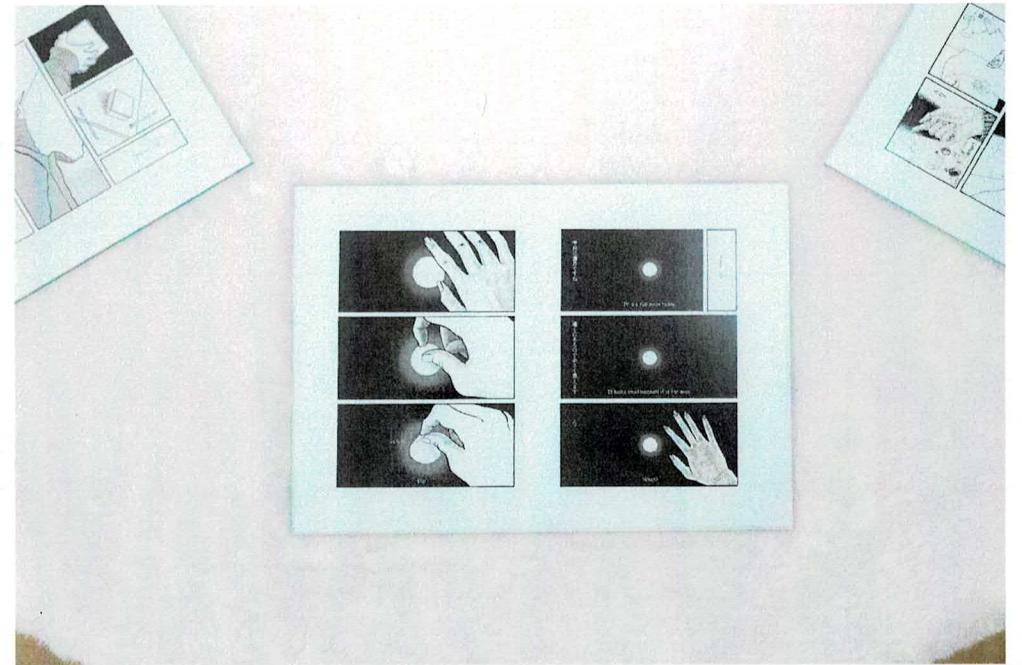
新身訓練：I want to see my back.

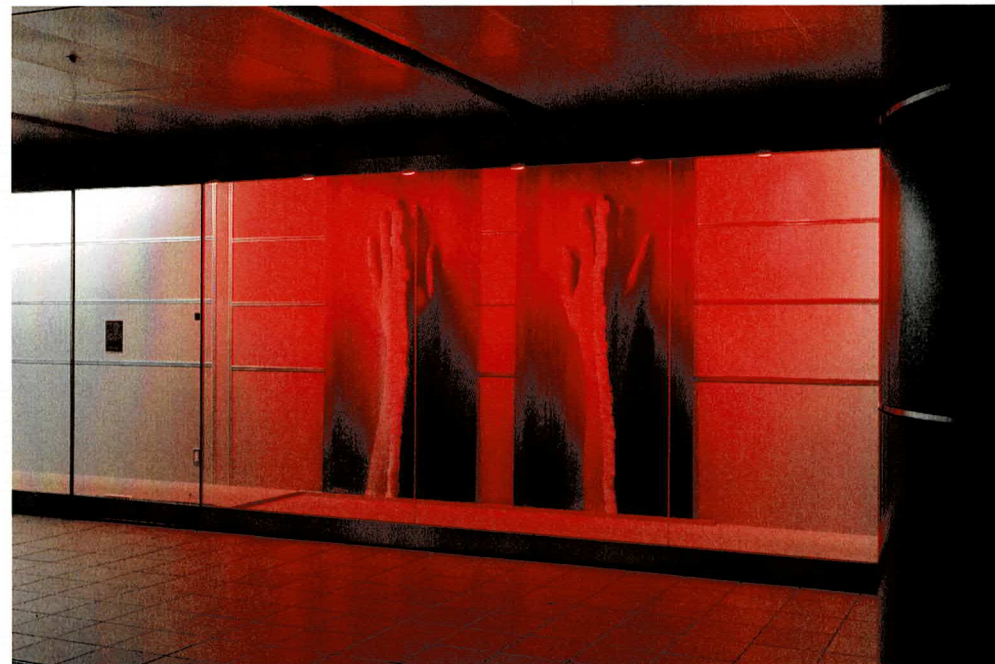
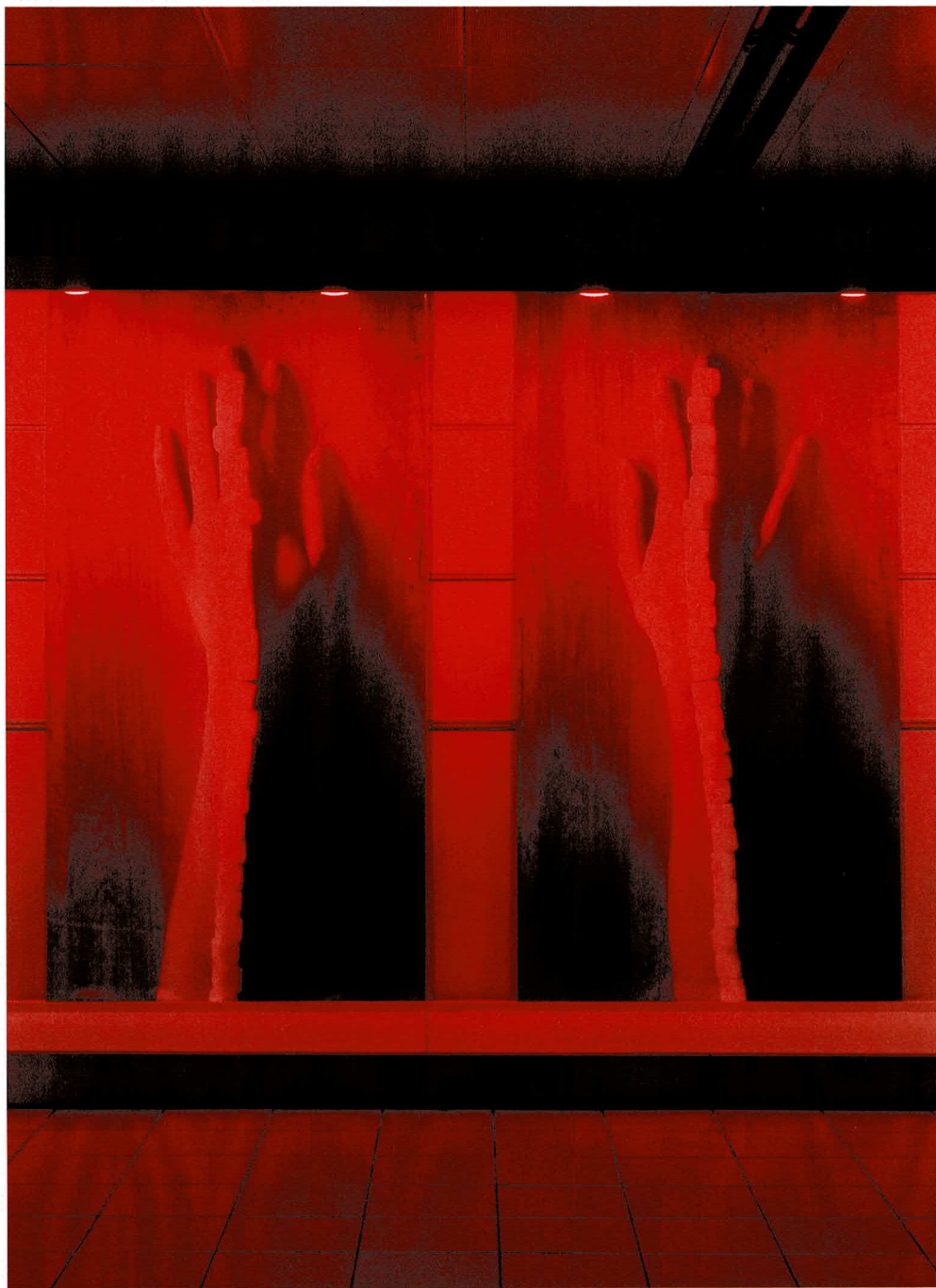
2024 | 銅版画・ミクストメディア（可変）

2022 年秋に 10 年ほど患っていた背骨の手術をしました。本作は、術後の背後を気にしながらの療養をきっかけに生まれた、360 度の視野を持つうさぎの知覚を想像するための作品群です。中心となる作品は、うさぎの見ているであろう世界を 6 枚の銅版で表現し、それらを立方体の展開図の構図で印刷した銅版画と、銅版をキューブ状に組み立てたオブジェです。提示されるうさぎを取り囲む世界自体は銅版のキューブの中にあるはずですが、鑑賞者はキューブを展開して印刷された銅版画からその中の世界を想像するしかありません。

個展会場では、うさぎが知覚する世界を想像するための導入として、奥行やスケールの認知に関する視差をモチーフとしたマンガのコマ割りの形式による 6 枚の図版《練習問題》などの作品を共に展示しました。（3 ページ目参照）







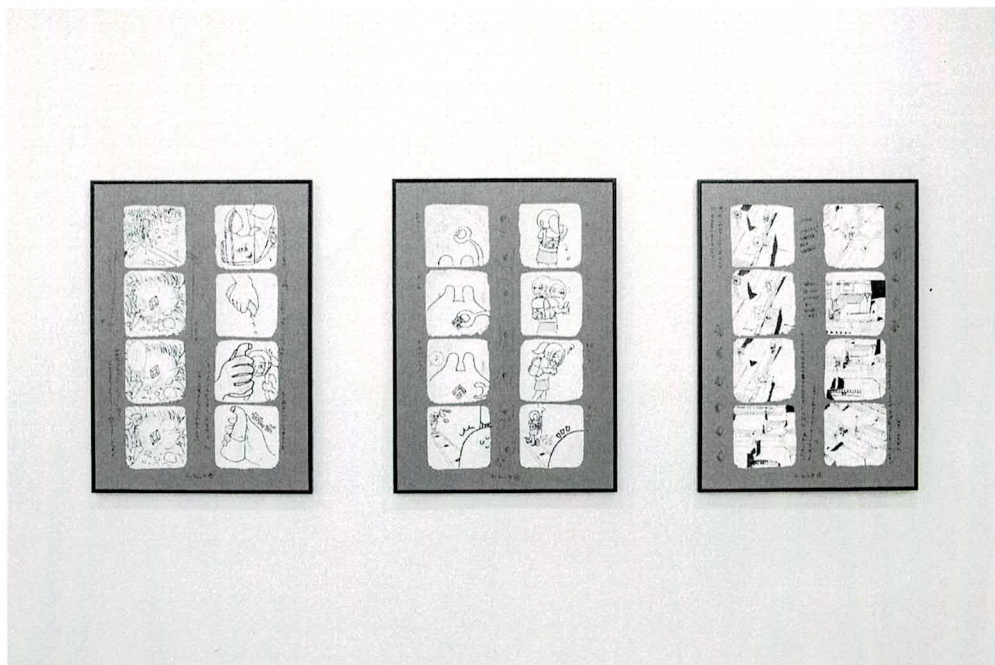
We are granules.

2024 | ポンジクロスにインクジェット印刷、H2200×W1500×D50mm

本作は、背骨の手術の後、安静のために満足に身体を動かさなかった時期に、それでもできる制作として始めたものです。大好きな紅茶に溶かす角砂糖を、手に乗せていくと、立方体として不完全な角砂糖によって、有機的なラインが浮かび上がります。形を保った粒の集まりとして、自分の手の物質性を見つめる作品です。これは新しい身体を解釈するための、バランスを見つけていく作業でもありました。

本作は、ポンジクロスにモノクロ大判印刷を施した写真を赤い光の中で展示しています。赤い光の下では皮膚の血色が消えて、血の通う者たちが等しくフィギュアのように見えてきます。そのため、赤い光の中にいると、自分の意志で身体を制御できるという幻想がほぐれていくように感じます。自分のこの身体もひとつの物体なのだということに向き合えるような展示空間を目指しました。

「アートアワードトーキョー丸の内」にて建畠哲賞を頂いた作品です。

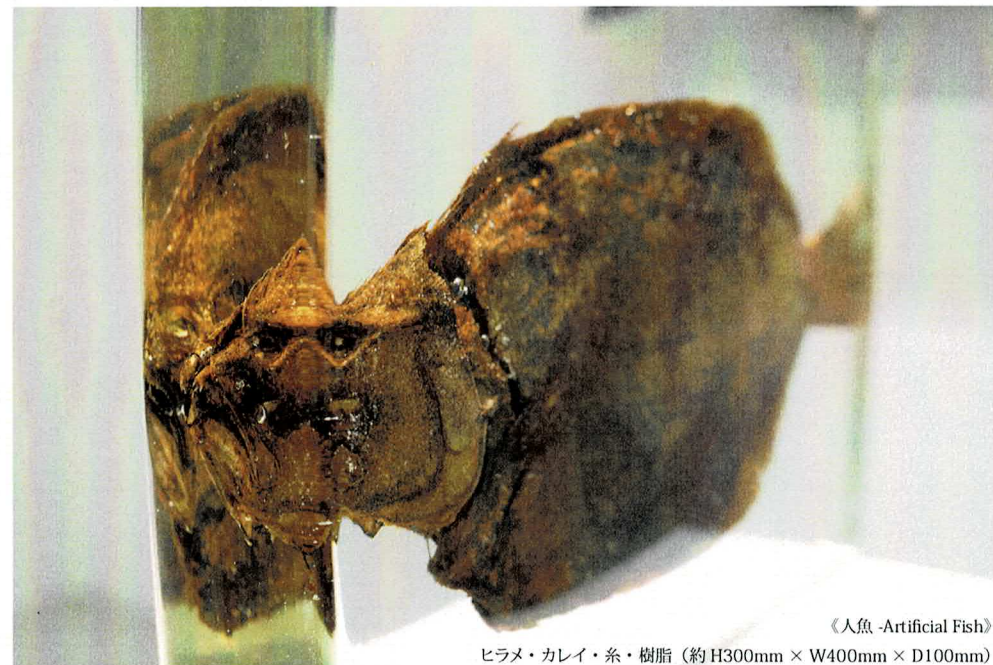
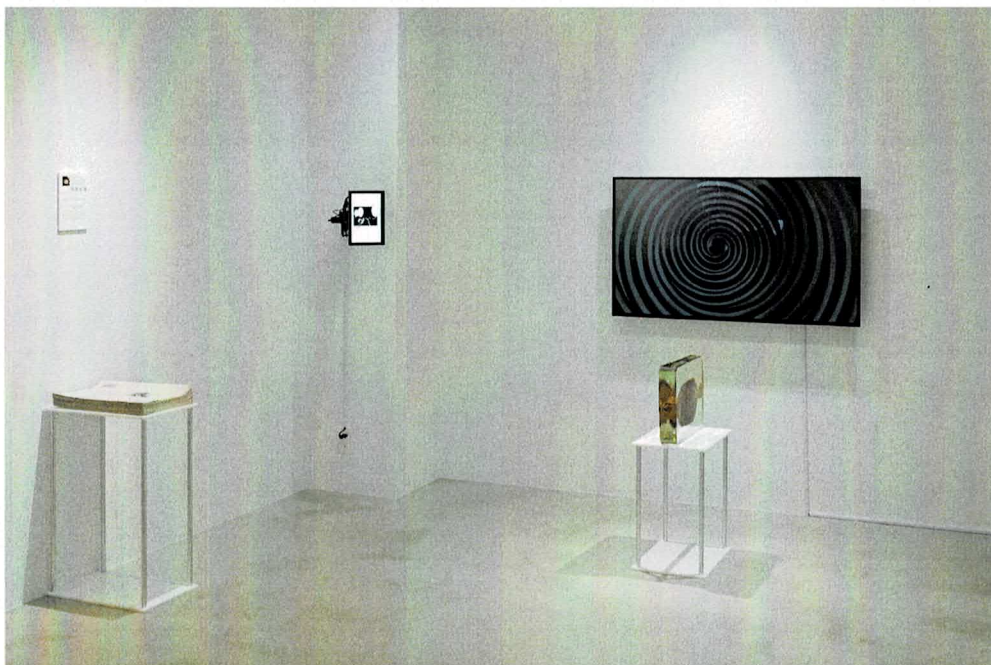


ランリュック ①-③

2024 | シルクスクリーン2色刷り、H594×W420mm

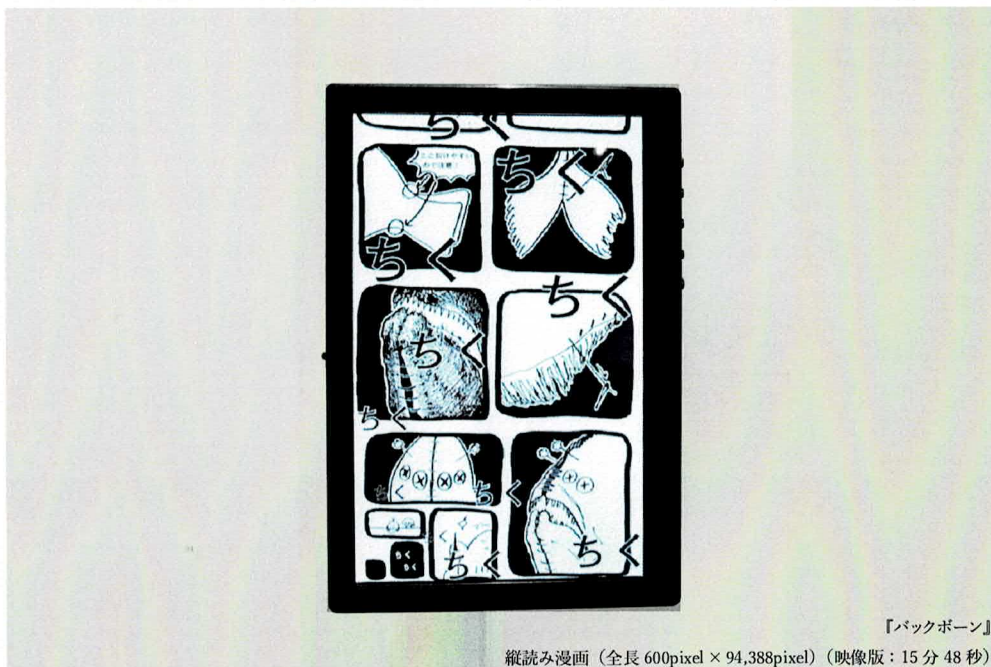
本作は、小学校の通学路にまつわる複数の思い出を同一平面上に落とし込み、一人称視点や俯瞰の視点という複数の視点で切り取ることを試みた作品です。中央の描き方を起点に、同内容を過去の自分の一人称視点に近づけたもの（左）と、監視カメラや航空画像のような俯瞰視点へ退いたもの（右）を実験的に描きました。思い出の描き方（語り口）の違いによって現れる過去の受容の変化について考えながら制作しました。ちなみに、タイトルのランリュック（ランリッ）とは、京都府南部では馴染み深い小学校指定のスクールバッグの名称です。

漫画のコマのように見えるのは白インクで印刷した角砂糖のシルエットです。白いこと、粒々なこと、多面体なこと、形が歪なことなど、私にとって連想の軸になってくれるモチーフになっています。角砂糖の中にイメージを描くことで、記憶の脆さを表現しています。



《人魚 -Artificial Fish》

ヒラメ・カレイ・糸・樹脂 (約H300mm × W400mm × D100mm)



【バックボーン】

縦読み漫画 (全長 600pixel × 94,388pixel) (映像版 : 15分 48秒)

新身訓練：人魚の受け入れかた

2022 | ミクストメディア (可変)

自作の人魚と脊椎側弯の手術を終えた自分自身を重ね合わせ、作り変えられた身体を受け入れていく過程を見つめるための作品群を、ひとつの作品《新身訓練：人魚の受け入れかた》として展示しました。この作品の背景には、麻酔が解け、新しい身体で目覚めた瞬間から3日くらい続いためまいのなかでの経験があります。その永遠にも感じられる時間に、私はヒラメとカレイが融合されて上下左右を見失った《人魚 -Artificial Fish》を追体験したのです。

本作は4つの要素に分かれています。①人魚のめまいを追体験する映像、②ヒラメとカレイの半身同士をつなぎ合わせ樹脂封入した《人魚 -Artificial Fish》、③めまいの経験をモチーフにした縦読み漫画、④入院中と前後に書いた日記を加筆修正した新聞形式の読み物『新身訓練』といったミクストメディアでつくられた作品が空間に並びます。